

平成30年度 熊本市・有明・菊池・阿蘇地域事業部 学校健康教育事業部 合同研修会(報告)

主催 (公社) 熊本県栄養士会 熊本市・有明・菊池・阿蘇地域事業部
学校健康教育事業部

日時 平成30年 7月 28日(土) 13:30~16:15

会場名 熊本県総合保健センター 3F 大研修室

1. なぜ今、地域食堂がひつようなのか～直面する地域課題から考察して～

社会福祉法人すみれ福祉会 カトリア保育園 副園長 西原 明優 氏

『子ども食堂』の発祥は東京のある八百屋さんで、『子どもやその親、及び地域の人々に対し、無料または安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供する場所』、『子どもが一人でも集える場所』を作りたいという思いからだったということです。また日本の課題である①人口減少、②多世帯化(単独世帯)、③地域の希薄化・無縁化、④孤独死や自殺者、引きこもりの増加、⑤相対的貧困や、2025年問題などを交えたお話をして頂きました。



日本の貧困率は、平成28年国民生活基礎調査で13.9%、平成29年熊本県生活実態調査(全年齢ではないが)15.0%という結果で、経済的貧困だけでなく、心の貧困も問題となっています。栄養士としての立場だけでなく、地域住民として地域の中で様々な課題を抱えている多くの方々を支えていけるようになりたいと思いました。

2. 実践報告

被災者支援と地域食堂～益城町での取り組み～

(一社)よか隊ネット熊本 事務局長 土黒 功司 氏

保育園での取り組み～はなみえ食堂～

家庭的保育室ひまわり園 園長 岩本 淳子 氏

管理栄養士など専門職で運営する地域食堂

Koshi community meal(こみ～る) 管理栄養士 白土 真澄 氏

2年前の熊本地震直後から被災者支援と地域食堂に多くの方々と奮闘された土黒先生、みんなでごはんを食べながら笑顔になりたい…という思いで活動されている岩本先生、色んな格差がある社会でもみんなの居場所をつくりたい…と取り組まれている白土先生、各先生方のお話はとても心を打たれました。

その後、ワールドカフェ方式で、「管理栄養士・栄養士としてやるべきこと」について、先生方に助言を頂きながらグループワークを行い、他の人の意見を聞き、自分の意見を述べとても貴重な時間でした。

わからないことも多くあるため、まずは参加して多くの知識を得ることが必要だと感じました。

先生方、貴重なお話、ありがとうございました。ご参加頂いたみな様、ありがとうございました。

